

2018年 秋の心の健康講座 —ご案内—

時の経つのは早いもので1999年に結成した当会は、お陰様で20年目を迎えました。さて、今回の講座は各世代それぞれの方にとって、大変関心の高いテーマとなりました。講師陣にはそれぞれエキスパートをお迎えします。

これを機会に、お誘い合わせのうえ、多数参加していただきたくご案内申し上げます。(※申込不要)

— [全3回] —

【第一回目】 10月27日(土)17:00~19:00 (質疑応答を含む)



『もの忘れと認知症と森田療法』

講師 繁田 雅弘先生 (東京慈恵会医科大学精神医学講座 主任教授)

1983年東京慈恵会医科大学卒業。1992年~1995年スウェーデン・カロリンスカ研究所・老年病学教室研究員、1995年東京慈恵会医科大学精神医学教室講師、2003年東京都立保健科学大学教授、以後、首都大学東京健康福祉学部教授、2011年~2014年首都大学東京副学長を経て、2017年から現職。専門分野は臨床精神医学、老年精神医学。著書(監修)に『気持ちが楽になる認知症の家族との暮らし方』2018年池田書店発行がある。

【第二回目】 11月18日(日)14:00~16:00 (質疑応答を含む)



『仕事のメンタルヘルス』 —就活から退職後まで—

講師 市川 光洋先生 (飯田橋光洋クリニック院長、高良保存会会長)

1982年浜松医科大学卒業、浜松医大精神神経科入局。1983年高良興生院にて森田療法を研修。1984年浜松医大で森田療法を開始。1986年都立松沢病院勤務、アルコール病棟開設に携わる。1989年成増厚生病院勤務を経てクリニックを開業し、現在に至る。2016年より高良興生院・森田療法関連資料保存会会長。著書に『外来森田療法』—神経症の短期集中治療—(2008年白揚社発行)がある。

【第三回目】 12月15日(土)17:00~19:00 (質疑応答を含む)

『児童精神科臨床からみた子育て・親子関係・家族についての雑感』

講師 松本 英夫先生 (東海大学医学部専門診療学系精神科学教授)

1987年浜松医科大学大学院医学研究科修了。同大医学部精神神経科講師、東海大学医学部精神科助教授などを経て、2006年より現職。専門分野は児童青年精神医学、乳幼児精神医学、力動精神医学。専門領域は児童・青年期精神障害の精神療法と薬物療法。編著に『乳幼児精神保健の基礎と実践—アセスメントと支援のためのガイドブック』2017年岩崎学術出版社発行がある。

■会場 社会福祉法人かがやき会 就労センター「街」研修室 ※【案内図】および「森田療法とは？」裏面参照

〒161-0032 東京都新宿区中落合1-6-21

1階がスワン・ペーカーリー&喫茶カフェタウン (夜間は閉まっています)

※ご注意: 川沿いにありますが、建物に目立つ看板がなく大変わかりづらい場所です。

【最寄駅】西武新宿線「下落合駅」または「中井駅」から徒歩6分。都営大江戸線「中井駅」から徒歩8分

■定員 各回50名 【申込み不要】

■参加費 各回1,000円 (ただし、保存会会員は無料。※当日の入会可)

■問合せ 保存会事務局 (就労センター「街」内) ただし、火・水・金曜10時~17時。担当 (足立)

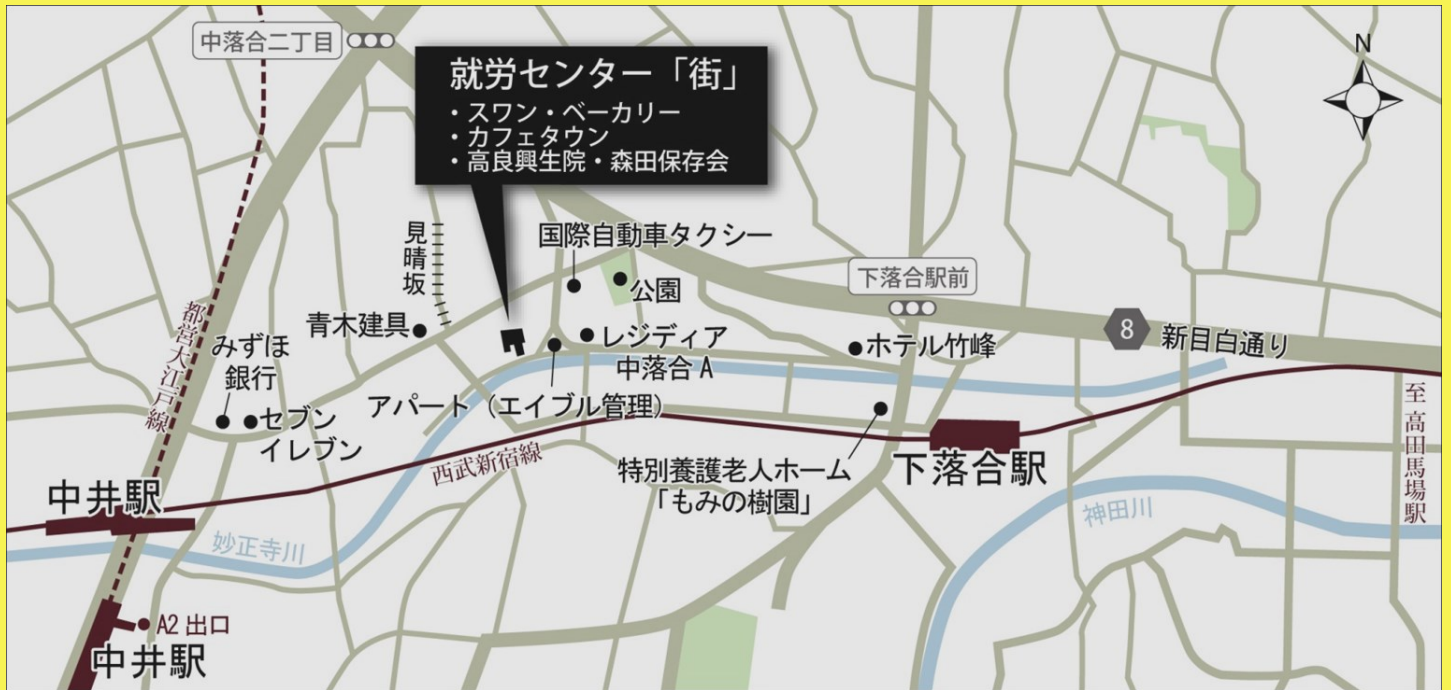
☎03-3952-9975、Eメール info@hozokai.net

ホームページ <http://www.hozokai.net/> 「高良保存会」で検索

◎主催 高良興生院・森田療法関連資料保存会

◎後援 公益財団法人メンタルヘルス岡本記念財団

社会福祉法人かがやき会 就労センター「街」への案内図



森田正馬 (1874～1938年) 高良武久 (1899～1996年)

森田療法とは？

森田療法とは、西暦1920年頃、森田正馬（元・慈恵医大名誉教授）が生み出した、わが国が世界に誇るべき神経症の治療法である。

それは、「とらわれの機制」（神経症的葛藤）を臥褥・作業・日記指導・読書などを用いて段階的に打破し、「あるがままの状態」（創造的で調和のある健康状態）を体得させようとするものである。

高良武久先生は、森田正馬の第一の高弟で、50余年に亘りこの地（東京新宿区中落合）で高良興生院を開設し、森田療法を実施されていた。（当会パンフレット「森田療法とは」から抜粋）

出来事	森田正馬年表	高良武久年表
1997（平成9） 生活支援センター「まど」認可		高良興生院の本館と土地が遺族により社会福祉法人かがやき会に寄付される
1998（平成10） 就労センター事業開始		遺族により「高良武久詩集」が思潮社から出版される
1999（平成11）		高良武久・森田資料保存会結成 （※その後、「高良興生院・森田療法関連資料保存会」に名称変更）
2000（平成12） 通所授産施設 就労センター「街」開所		就労センター「街」内の図書資料室に、高良興生院と森田療法関連資料を保存、公開する

図書資料室の保存資料、蔵書

就労センター「街」2階にある資料室には、森田療法関係、高良興生院関係の様々な図書および資料が展示、保存されています。

なお、蔵書の特色としては、森田療法そのものについての著作のみでなく、森田療法を生み出した背景にある思想家の著作、森田療法が成立した時代の精神医学的な雑誌などをとつめて収集していることです。

《保存されている主な蔵書》

- 森田正馬全集・全7巻（白揚社） ■その他・森田正馬著の単行本 ■高良武久著作集・全7巻（白揚社） ■その他・高良武久の主要著作単行本
- 呉秀三・主要著作（精神医学神経学古典刊行会） ■大原健士郎・主要著作単行本 ■岩井寛・主要著作単行本 ■近藤章久・主要著作単行本
- 水谷啓二・主要著作単行本 ■鈴木知準・主要著作単行本 ■長谷川洋三・主要著作単行本
- 雑誌「神経質」全巻（神経質研究会編）1930年発刊～1935年、森田正馬が自らの治療法を普及していくために、発刊した定期刊行物。
- 復刻版「変態心理」（不二出版、収録 大正6年～大正15年） ■井上円了「妖怪学全集」全6巻（柏書房、東洋大学井上円了記念学術センター編）
- DVD「森田療法ビデオ全集」全5巻（有限会社ランドスケープ） DVD「ヒポクラテスと蓮の花」（有限会社ランドスケープ）
- その他、森田療法関係診療所の機関誌——「あるがまま」「随境」「今に生きる」「三省会報」
- 森田療法学習団体「生活の発見会」の月刊誌など（欠巻あり）

（第1刷3000部）